

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 **新** 岐阜県森林クラウドシステム構築及び運用保守事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 林政課 森林計画係 電話番号：058-272-1111 (内 3024)

E-mail：c11511@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 67,055千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	67,055	33,527	0	0	0	0	0	0	33,528
決定額	67,055	33,527	0	0	0	0	0	0	33,528

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

林政部所管の情報システム (森林 GIS、森林情報システム、保安林台帳管理システム、治山 GIS) が順次更新時期を迎えている。

一方、令和元年度から市町村の林地台帳や森林経営管理法の運用が開始されたことから、県と市町村の情報共有化が不可欠である。さらに林業成長産業化の基盤となるスマート林業推進や山地災害への対応のため、効率的かつ迅速な情報共有化が求められている。

これらのことから、森林クラウドシステムの構築を行い、システムの構築後は5年間の運用保守委託契約を行う。

(2) 事業内容

森林地理情報システム等の再開発を行い、利用範囲及び機能の見直しによりシステムの抱える問題を解決した上で、林政部所管の情報システム (森林 GIS、森林情報システム、保安林台帳管理システム、治山 GIS) のサーバー一元化により、コスト削減を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

R3年度（システム構築）：国庫補助（補助率 1/2）

R4～8年度（システム運用保守）：森林環境譲与税

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	12	業務旅費
役務費	20	電話代、郵便代
委託料	67,023	岐阜県森林クラウドシステム構築及び運用保守委託業務（R3年度分）
合計	67,055	

・委託費

－岐阜県森林クラウドシステム構築及び運用保守委託業務

限度額(千円)	支払予定額（千円／年度）
56,870	R4～R8：11,374

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

引き続き、県が負担する。

(2) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

県が管理する現行システムの再構築・運用保守であるため。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

林政関係のシステムを統合し、市町村や林業事業者と森林情報を共有し相互利用することができる森林クラウドを構築する。令和3年度にシステム構築を行い、令和4年度から運用保守を開始する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

森林クラウドを構築する予算であるため、特に指標となる数値はない。

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い	
(評価) ○	林地台帳や森林経営管理法への対応や林業成長産業化の基盤となるスマート林業推進、山地災害発生時の情報収集・集積のため、県、市町村、林業事業体等との効率的かつ迅速な情報共有化が必要である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	台帳情報を区域情報として「見える化」することで確認作業が効率化し、補助金二重投資リスクの回避に役立つなど、事業効果は高い。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	森林に関する情報がクラウド上で共有化されることにより、県－市町村間の情報共有や、林業事業体等からの情報収集の効率化が図られる。

(今後の課題)

・ 機能要件の検討 ・ 委託業務の発注準備

(次年度の方向性)

[システム構築] 令和3年度 [システム運用保守] 令和4年度～令和8年度
--